

## 大本『般若心経』和訳

サンスクリット語で、『バガヴァティー・プラジュニャー・パーラミター・フリダヤ』  
チベット語で、『チョムデン・デーマ・シェーラプキ・パロルトウ・チンペー・ニンポ』  
く『ぶつせつまかはんにやはらみったしんぎょう 仏説摩訶般若波羅蜜多心経』く

ぶつもほんにやはらみった  
仏母般若波羅蜜多に礼拝いたします

このように私は聞いた。ある時、世尊（釈尊）は王舎城（ラージギール）の靈鷲山りょうじゆせんにおいて、  
比丘の大僧伽（大比丘衆）びく だいそうぎや だいびくしゆと菩薩の大僧伽（諸菩薩摩訶薩衆）しよぼさつまかさつしゆとともに坐っておられた。その時  
世尊は、深遠なる現われ（甚深顕現）じんしんけんげんという多くの現象についての三昧にお入りになったのである。

またその時、菩薩摩訶薩（偉大な聖者の菩薩）聖觀自在菩薩が〔世尊の加持を受けて〕深遠なる  
般若波羅蜜の行をよく觀じ、五蘊ごうんもまた、その自性による成立がない空の本質を持つものである  
ということを見極められた。

くかんじざいぼさつ ぎょうじん はらみったじ しょうけんごうんかいこう どいつさいくやく  
觀自在菩薩 行深般若波羅蜜多時 照見五蘊皆空（度一切苦厄）く

すると、仏陀の〔加持〕力によって、長老シャーリプトラしゃりほつそんじゃ（舍利弗尊者）が  
菩薩摩訶薩聖觀自在菩薩にこうお尋ねした。「善男子ぜんなんし（大乘の氣質が覚醒した者）の誰かが、般  
若波羅蜜の深遠なる行を實踐したいと望むならば、どのように学ぶべきであろうか」

そのように問われて、菩薩摩訶薩聖觀自在菩薩は長老シャーリプトラにこう答えられた。「シャ  
ーリプトラよ、深遠なる般若波羅蜜の行を實踐したいと望む善男子ぜんによん、善女人は誰でも、このよう  
によく見極めるべきである。つまり、五蘊もまた、その自性による成立がない空の本質を持つも  
のであるということ、正しく以下の如く見極めなければならない。

く舍利子く

〔甚深四句の法門〕

色即是空（色〈＝物質的存在〉は空である）

空即是色（空は色である）

色不異空（色は空と異ならず）

空不異色（空も色と異なるものではない）

くしきふいくう くうふいしき しきそくぜくう くうそくぜしき  
色不異空 空不異色 色即是空 空即是色く

同様に、感受作用（受）、識別作用（想）、形成力（行）、認識作用（識）も空である。

くじゆそうぎょうしきやくぶによぜ  
受想行色亦復如是く

〔甚深八句の法門〕

シャーリプトラよ、そのように、すべての現象は空である。すなわち相というものがなく、生じたということもなく、滅したということもなく、汚れていることもなく、汚れから離れているということもなく、減るということもなく、増えるということもないのである。

〈舍利子 是諸法空相 不生不滅 不垢不淨 不增不減〉

シャーリプトラよ、故に、空においては、物質的な存在（色）がなく、感受作用（受）がなく、識別作用（想）がなく、形成力（行）がなく、認識作用（識）もない。 （五蘊）

〈是故空中 無色 無受想行識〉

眼もなく、耳もなく、鼻もなく、舌もなく、からだもなく、心もなく、形もなく、音もなく、香もなく、味もなく、触れられる対象もなく、〔心の対象となる〕現象もない。 （六根） （十二処）

〈無眼耳鼻舌身意 無色声香味触法〉

眼の領域（眼界）から意識の領域（眼界）に至るまで、さらに非感覺的意識の領域（意識界）に至るまで〔のすべて〕もない。 （六識） （十八界）

〈無眼界 乃至無意識界〉

無明もなく、無明が尽きることもない。これより、老死もなく、老死が尽きることに至るまで〔のすべて〕もない。 （十二縁起）

〈無無明 亦無無明尽 乃至無老死 亦無老死尽〉

同様に、苦しみも、苦しみの因も、苦しみの止滅も、苦しみの止滅に至る道もない。 （四諦）  
智慧もなく、〔果を〕得ることもなく、得ないということもない。

〈無苦集滅道 無智亦無得〉

シャーリプトラよ、そこで〔悟りという果を〕得ることがないため、菩薩たちは般若波羅蜜を抛りどころにして住するのであり、心には障りがないため、恐れもない。誤った心（顛倒）を完全に離れて、涅槃に至るのである。

〈以無所得故 菩提薩埵 依般若波羅蜜多故 心無罣礙 無罣礙故 無有恐怖 遠離一切顛倒夢想 究竟涅槃〉

三世におおすすべての仏陀たちもまた、般若波羅蜜を抛りどころとして、無上の完全なる悟り（無上正等覺）を達成して仏陀となられたのである。

〈三世諸佛 依般若波羅蜜多故 得阿耨多羅三藐三菩提〉

故に、般若波羅蜜の真言は、大いなる明智の真言であり、無上の真言であり、無比を同等にする真言であり、すべての苦をよく鎮める真言である。〔これは〕偽りではないので、真実であると知るべきである。そこで般若波羅蜜の真言をこのように説く。

〈故知般若波羅蜜多 是大神咒 是大明咒 是無上咒 是無等等咒 能除一切苦 真実不虛  
故説般若波羅蜜多咒 即説咒曰〉

タヤター・ガテ・ガテ・パーラガテ・パーラサムガテ・ボーディスヴァーハー

すなわち、行け、行け、彼岸に行け、彼岸に正しく行け、さとりを成就せよ

〈揭帝 揭帝 般羅揭帝 般羅僧揭帝 菩提僧莎訶 般若波羅蜜多心經〉

シャーリプトラよ、菩薩摩訶薩はこのように深遠なる般若波羅蜜を学ぶべきである。〔聖觀自在菩薩がこのように答えられると、〕その時世尊は三昧から立ち上がられて、菩薩摩訶薩聖觀自在菩薩に「善く言った」と述べられて、「善く言った、善く言った、善男子よ、その通りである。善男子よ、その通りであり、汝が示した通りに、深遠なる般若波羅蜜を行じるべきである。如来たちも心から随喜されている」と世尊がこのように言われたので、長老シャーリプトラ、菩薩摩訶薩聖觀自在菩薩、まわりのすべての者たちと、天人、人、阿修羅、乾闥婆（食香、ガンダルヴァ）などの世間の者たちが随喜して、世尊のお言葉を讃えたのである。